

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2021年6月1日 213号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護



左より、豊村氏、荒巻さん、本田さん、ヌワビシさん、源田さん。4月21日



5名を乗せたボートがやって來た。4月21日

4月21日、豊村氏と4名の青年がレダ基地に到着しました。青年はいずれも女性です。彼女たちは中期ボランティアとして、パンタナールを体験し、レダプロジェクトを実地で学び、奉仕生活をしようと、篤い志を抱いてやつて來ました。すでにレダ基地で活動している滝川君、川久保君と合わせ、レダの日本人青年は、総勢6名となりました。熟年スタッフは無論、ヤングパワーを大歓迎。レダは新たな活気に満ちています。

南半球にあるレダの気候は、これから8月にかけて涼しい日が多くなっていきます。最低気温が10°C未満になります。この季節に初めてレダ入りして中期以上の滞在をする人は、まずレダでの新しい生活に慣れ、その後徐々に厳しい暑さにも慣れていくことができるでしょう。

新規のレダ赴任者は、伝統的な体験学習に臨みます。中でも釣り体験は、提唱者文鮮明・韓鶴子総裁夫妻の思想と心情を学ぶことを目的とした、レダの必修科目とも言えるものです。たとえ1匹も釣れなくても、何かを感じ、何かを学ぶのです。4月24日の釣り体験では、4名の合計でパクー9匹、ピラニア20匹を釣り、幸先のよいスタートを切りました。そして、養殖、養豚、農場、浄水場、工具室、台所、清掃、ほか重要な担当分野を順次体験しながら、開拓者として成長していくことでしょう。

一般的に、若者は感性に優れ、頭脳と身体が柔軟、純粋な理想を抱きやすい、などの特長があります。そして熟年者よりも未来の時間が多くのあるのが強み。レダの青年たちもどんどん言葉を覚え、IT機器を駆使し、生き生きとした情報を世界に発信してくれるかもしれません。

7月には、第21回国際協力青年奉仕隊と共に活動します。

レダに新たな青年ボランティア！



ヤシの実を探る青年たち。歓迎のケーキをカットする青年たち。4月21日 岩澤所長(中央)が米国経由で到着。4月28日



グアラニ一族の村で活動する中田氏(中央)と青木氏(左)。グアラニ一族の村にて、中田氏(右)と青木氏。5月初旬



北中氏(左)と大元氏がレダ到着。5月12日

パクーの切り身を作る小橋氏。5月9日

ベンチを製作する水落氏。4月21日



浄水場作業を学ぶ青年たち。5月2日

公館前に釣果を並べて。4月24日

青年たちが豚ランドを訪問。4月22日



カナン牧場の犬と鶏たち。4月16日

休ませていた養殖池を整備。4月15日

メーデーを祝う焼肉を準備。5月2日

家庭で移住し事業定着を目指す



一般社団法人
南北米福地開発協会 青年局長
しまだ けんじ 島田 賢二さん

「世界の僻地に渡り奉仕したい」

幼き頃にシュバイツァー博士に憧れた。時は流れ、その幼い子供は成長し青年となった。そして、結婚をし家族を持った。それでも、シュバイツァー博士への憧れは消えることはなく、世界の僻地に渡り、奉仕したいという思いも変わらなかった。一般社団法人南北米福地開発協会の青年局長・島田賢二さんは今年、一大決心をした。それは家族連での南米移住だ。

現在、クラウドファンディングで渡航費を集めている。目標額は100万円(4月1日まで)。16日現在

Sunday世界日報 3月21日付に掲載された記事。

既存スタッフが皆70歳を超えていく中、誰かがレダ・プロジェクトを継承しなければなりません。できれば単身赴任のシニアや独身青年ではなく、現役世代が家族を連れて移住することが求められていますが、今の時点では私の家庭しかいなと思われました。また、近年自分なりに勉強し

返礼品としてレダの押花をラミネートしてしおりを作りました。

その結果、順調に支援が集まり、2日で20%、折り返し地点で75%、13日を残して100%を達成し、最終的に上記の金額になりました。

支援者の情報を見な

た。その後、順調に

返礼品としてレダの

押花をラミネートし

てしおりを作りました。

その結果、順調に

返礼品としてレダの

押花をラミネートし

てしおりを作りました。

その後、順調に

返礼品としてレダの

押花をラミネートし

てしおりを作りました。

その後、順調に

返礼品としてレダの

押花をラミネートし

てしおりを作りました。

レダ・プロジェクトで移住を懸けたクラウドファンディング

青年局長 島田賢二

今年2月17日から4月1日まで「パンタナールの自然を守るために、家族でパラグアイに移住したい!」というタイトルで、目標金額100万円のクラウドファンディングに挑戦しました(<https://readyfor.jp/projects/leda-iju>)。初めての試みで、悲壮な覚悟をしながら臨んだクラウドファンディングでしたが、おかげさまで101人から122万7千円の支援を受け、成功することができました。

南北米福地開発協会の青年局長として6年間働いてきましたが、その中心的なテーマは「レダ・プロジェクトの後継者を探し立てる」ことでした。そのため、SNSを使った情報発信や中期ボランティアなどの枠組みを作つて、青年派遣に注力しました。

しかし、青年の定着率は低く、思うように世代交代は進みませんでした。

既存スタッフが皆70歳を超えていく中、誰かがレダ・プロジェクトを継承しなければなりません。できれば単身赴任のシニアや独身青年ではなく、現役世代が家族を連れて移住することが求められていますが、今の時点では私の家庭しかいなと思われました。また、近年自分なりに勉強し

ながら、さまざまに先進的手法を知り、レダ・プロジェクトの次世代ビジョンが見えてきたこともあり、家庭移住を決意しました(今年4月末に第4子の出産がありました)。また、現地経験や特別な専門性をもつていない私が、レダ・プロジェクトの中心的な後継者となる資格があるのか、という内的な課題もありました。資金調達と資格確認、そして広報の目



要がありました。また、現地経験や特別な専門性をもつていない私が、レダ・プロジェクトの中心的な後継者となる資格があるのか、という内的な課題もありました。資金調達と資格確認、そして広報の目

的も兼ねて、クラウドファンディングを押し出しました。

クラウドファンディング会社に申請を出

し、審査通過後、契約を交わし、ウェブ

ページを作成してクラウドファンディングを開始しました。

期間中は、知人に個別連絡をし、SNSグループに投稿し、集会でプレゼンテーションをし、ウェブページを更新し、メディアに掲載を依頼し、支援者のコメントに返事を書き

返礼品としてレダの押花をラミネートしてしおりを作りました。

その後、順調に支援が集まり、2日で20%、折り返し地点で75%、13日を残して100%を達成し、最終的に上記の金額になりました。

支援者の情報を見ながら把握できた大まかなか内訳は、南北米福地開発協会の会員など既存の支援者、

島田賢二さんの家族。2020年11月1日撮影。



島田賢二さんの家族。2020年11月1日撮影。

第21回青年奉仕隊支援のお願い

第21回国際協力青年奉仕隊は、来る7月にパラグアイ共和国チャコ地方のマリア・アウシリアドーラ村での奉仕活動とレダでの体験学習とを主軸に実施します。同



トロパンパ村に完成した美しい公園。2018年9月3日

参加者5名に、レダの日本人青年ボランティア、オリンポとエスペランサの高校生を含むパラグアイ青年十数名を加えた国際チームを編成しての新たな試みです。

奉仕活動の一環として

の公園造りは、2018

年のトロパンパ村における

実績(上の写真)があり、

青年奉仕隊の活動を知つ

た近隣のコミュニティの多くから、自分たちの村に

も来てほしいとの要望が次々に寄せられてきました。

今回は公園に木製の遊具を設置します。チャコ地

方で広く使用されるケブラツチヨ材の場合、金属製

の遊具よりも耐久性で優り、無塗装でも100年以

上の耐久性があることが知られています。

はるか地球の向う側の村の子供たちのため、皆様

からご支援をいただければ、より素晴らしい公園の

実現と奉仕活動ができるものと思います。

日本から参加する隊員は、7月9日に日本を発ち、7月

いっぱい青年奉仕隊活動

を行った後、レダに残り、

各々2~5ヶ月間奉仕し

て帰国する予定です。

支援は、下記の口座あ

いづらい青年奉仕隊活動

をお待ちいたします。ご

支援は、下記の口座あ

いづらい青年奉仕隊活動

をお願いいたします。

第22回ワンディセミナー延期のお知らせ

5月15日に予定していた、第22回パンタナール・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・